

職種を超えた院内DXへの挑戦

～「呼ぶ」から「つなげる」へ、ナースコール深化が生んだ価値～



前橋赤十字病院 副院長兼看護部長 林昌子

はじめに



前橋赤十字病院では2018年6月の新築移転を機に、ICT（情報通信技術）インフラを整備し、職員の働き方改革に取り組んできた。

スマートフォンを日常業務に導入したことは職員の働き方改革推進の礎となっており、その活用幅を広げる取り組みが継続的・発展的に現在へとつながっている。

今回、多職種および関連業者と連携を図り、ナースコールシステムの発展的活用のため「担当看護師優先呼出し」と「担当看護師検索・内線発信」等の機能向上に取り組んできたので紹介したい。

取り組みを通し、ナースコールシステム機能の向上は「呼ぶ」役割から「つなげる」役割への深化であったと実感している。

施設概要



所在地：群馬県前橋市 1913年開院 ⇒ 2018年新築移転

診療科目：33科

病床数：555床（一般527床、感染6床、精神22床）

看護職員数：配置実数 781人（長期休業者除く） 2026年4月現在

実働換算 752.0人 2026年4月現在

看護職員離職率： 5.7%（入職1年未満 5.8%） 2025年度

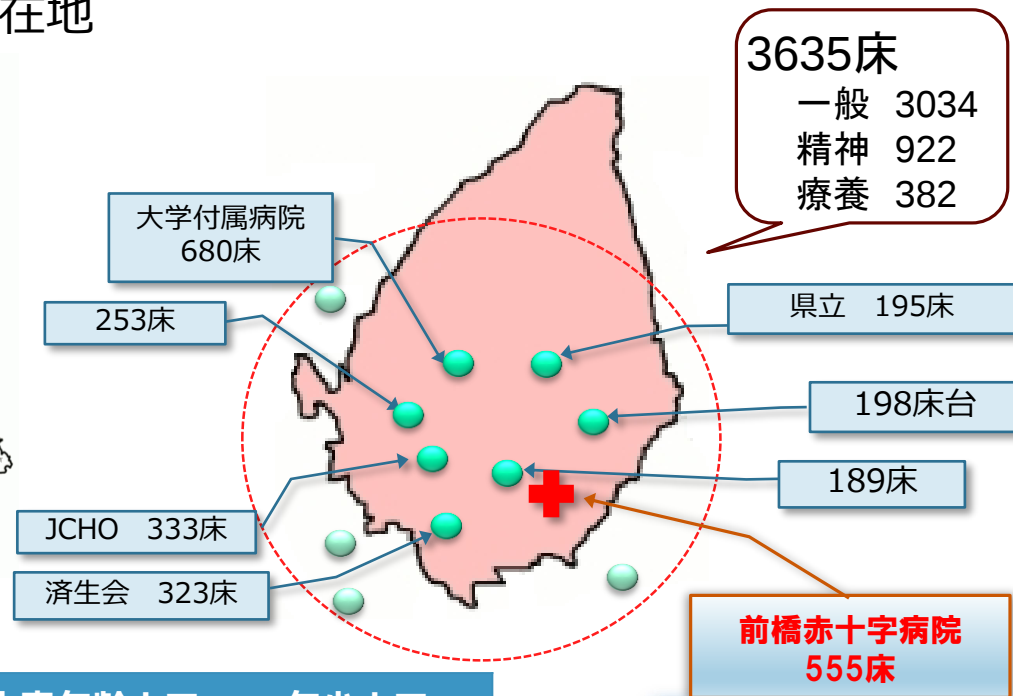
平均病床稼働率： 94.1% 2025年度

平均在院日数： 11.3日 2025年度

- 主な指定等：
- ・ 高度救命救急センター
 - ・ 群馬県ドクターヘリ基地病院
 - ・ 基幹災害拠点病院
 - ・ 高次脳機能障害支援拠点機関指定
 - ・ エイズ診療拠点病院 等々



前橋市：群馬県庁所在地



群馬県・前橋市の年齢別人口

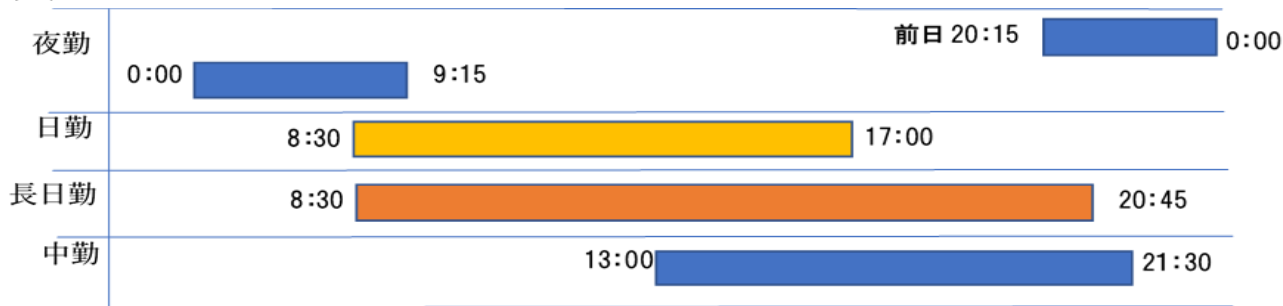
	人口	老年人口	生産年齢人口	年少人口
群馬県	1,889,525人	31.3%	57.7%	10.9%
前橋市	326,293人	31.6%	57.2%	11.2%



勤務体制・看護提供方式

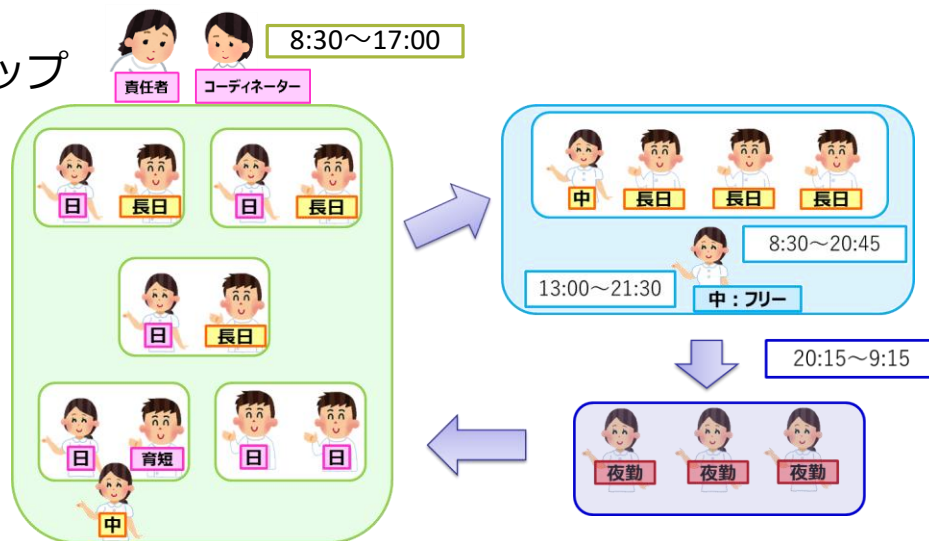
【勤務体制】

変則二交代制勤務



【看護提供方式】

デイ・パートナーシップ



スマートフォン活用状況

現環境 プラン第2期 (2023年8月～)

iPhoneSE3 (1080台)



Wi-Fi

LTE

»5G
docomo



ドコモレンタルプラン
契約期間：5年予定



全医師
看護師長以上／事務係長・課長以上
横断的活動チーム・専従配置者

← 個人貸与

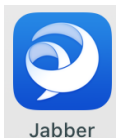
病棟で勤務中の全看護師
がスマートフォンを持って勤務

← 病棟の端末を
勤務時ログイン利用



主なアプリケーション

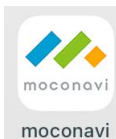
コミュニケーションアプリ



Jabber・・・内線電話アプリ

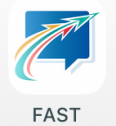


MRC TAGS・・・
職員間チャットアプリ



電話帳アプリ・・・
位置情報の確認

ナースコールシステムとの機能連携



FASTメッセージ・・・
緊急時アラート通知アプリ



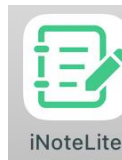
業務支援アプリ



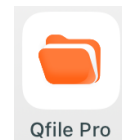
らくらくi+・・・
看護業務支援アプリ



DropHelper・・・
点滴滴下タイミング測定アプリ



Amivoice iNote Lite・・・
音声認識アプリ
(医療辞書入り！)



Qfile・・・画像共有アプリ

ナースコールシステム革新への挑戦のはじまり

新病院から**コンピュータナースコール**を採用 スマートフォンで受信

患者名・呼び出し種別 表示が可能となった！！



【呼出種別の絵文字】

緊急呼出：	 801-3 佐々木次郎	トイレ浴室：	 801-3 佐々木次郎
一般呼出：	 801-3 佐々木次郎	センサ呼出：	 801-3 佐々木次郎
脱落警報：	 801-3 佐々木次郎	親機より：	 親機 1



【参考】1日のNC件数
最大：135回/日
平均：約76回/日

ナースコールの課題：

- ◆**全台一斉鳴動**により担当患者以外のコールも全て着信し業務中断
- ◆コールを受けた看護師が**担当看護師**に取り次ぐ煩雑さ

ナースコールメーカー（株）ケアコムとの共創活動



看護業務の継続的な増加・働き方改革・人材不足・・・
ICTインフラで看護業務の負担増に歯止めをかけたい

ナースコールメーカー(株)ケアコム社から
『パートナーユーザー制度による価値共創提案』

取り組み：第1弾・第2弾

取り組み：第3弾

前橋赤十字病
院-ケアコム
パートナー
ユーザー活動
開始

テーマ決定：
スマートフォンを用いた
NCシステム
アップデート

①

患者—看護師
紐づけ作業
(担当割当)
のシステム化

②

担当看護師
へのナース
コールの優先
呼出し

③

担当看護師検
索、看護師名
での内線通話

成果評価

一般病棟
への
水平展開

第1弾：A病棟導入

第2弾：B病棟導入

全病棟導入

2023年9月

2024年8月～9月

2025年5月～

先発病棟2026年1月～
後発病棟2026年2月～

①

【患者—看護師紐づけ作業（担当割当）のシステム化】

優先呼出しを実現するための「受け持ちリスト」を作成

従来ホワイトボードで行っていた患者と担当看護師の紐づけを、電子カルテPCに
配備したシステムを使って紐づけし、受け持ちリストを作成する。



年月日 2023/11/22 勤務帯 日勤 午後 夜間

担当設定 チーム設定 呼出し設定

患者をドラッグ・ドロップする

看護師をドラッグ・ドロップする

患者一覧					
部屋	患者名	部屋	患者名	部屋	患者名
101-1	患者01	105-1	患者17	109-1	患者33
101-2	患者02	105-2	患者18	109-2	患者34
101-3	患者03	105-3	患者19	109-3	患者35
101-4	患者04	105-4	患者20	109-4	患者36
102-1	患者05	106-1	患者21	110-1	患者37
102-2	患者06	106-2	患者22	110-2	患者38
102-3	患者07	106-3	患者23	110-3	患者39
102-4	患者08	106-4	患者24	110-4	患者40
103-1	患者09	107-1	患者25	111-1	患者41
103-2	患者10	107-2	患者26	111-2	患者42
103-3	患者11	107-3	患者27	111-3	患者43
103-4	患者12	107-4	患者28	111-4	患者44
104-1	患者13	108-1	患者29	112-1	患者45
104-2	患者14	108-2	患者30	112-2	患者46
104-3	患者15	108-3	患者31	112-3	患者47
104-4	患者16	108-4	患者32	112-4	患者48

看護師一覧	
氏名	氏名
看護師1	看護師16
看護師2	看護師17
看護師3	看護師18
看護師4	看護師19
看護師5	看護師20
看護師6	看護師21
看護師7	看護師22
看護師8	看護師23
看護師9	看護師24
看護師10	看護師25
看護師11	看護師26
看護師12	看護師27
看護師13	看護師28
看護師14	看護師29
看護師15	看護師30

担当患者一覧	
病棟	患者
チーム1	担当看護師
ベア1-1	看護師1 患者01 患者02 患者03 患者04
ベア1-2	看護師2 患者05 患者06 患者07 患者08 患者09
ベア1-3	看護師3 患者10 患者11 患者12 患者13
	看護師4 患者14 患者15 患者16 患者17
	看護師5 患者18 患者19 患者20 患者21 患者22 患者23
	看護師6 患者24 患者25 患者26 患者27
[+]	
チーム2	担当看護師
ベア2-1	看護師7 患者28 患者29 患者30 患者31
ベア2-2	看護師8 患者32 患者33 患者34 患者35 患者36
	看護師9 患者37 患者38 患者39 患者40
	看護師10 患者41 患者42 患者43 患者44
[+]	

受け持ちボード
 (ホワイトボード)

電子カルテPC

②【担当看護師へのナースコールの優先呼出し】

従来のナースコール：



患者さん



NC呼出し

一律全台のiPhoneを
呼び出す



NC_01



NC_02

～



NC_16



共有端末

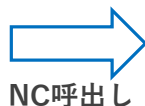
まずは
電話帳アプリのログイン運用で
端末と看護師個人を紐づけ



「担当看護師優先呼出し」のナースコール：



患者さん



NC呼出し

一次呼出し



NC_01

『看護師〇〇』



一定時間後

二次呼出し



NC_02

『看護師△△』



NC_03

『看護師□□』

～



NC_16

『看護師××』

患者さんの担当看護師の
iPhoneを最初に呼び
一定時間後、全台の
スマホを呼び出す

【担当看護師検索と看護師氏名での内線通話】

- ・各看護師の受け持ち患者やその日の役割・予定などの確認が可能となった
- ・ログインしているとその看護師の名前から内線発信が可能となった

「看護師選択」・「患者選択」にて
看護師や入院患者をタップすると
「担当患者一覧」の画面に遷移する

docomo
9:58
80%
http://10.100.212-809/1/iPhone/iPhoneKan...

担当患者一覧
更新
戻る

	ふれあい	
6D01	導尿 ERCP 	
6D11	COVID	
未割当	AM入院、胆嚢炎 CV?	

看護師
グループ

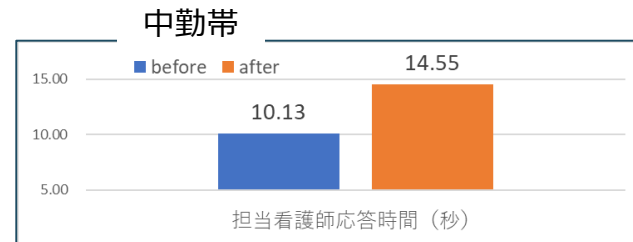
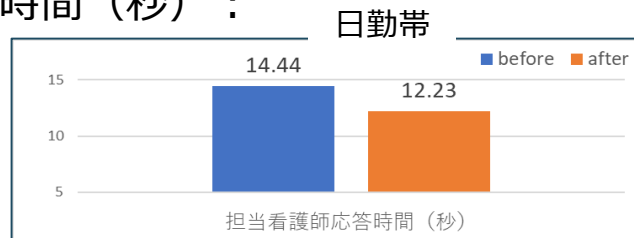
患者
グループ

看護師の研修や会議など
簡単な予定を確認できる

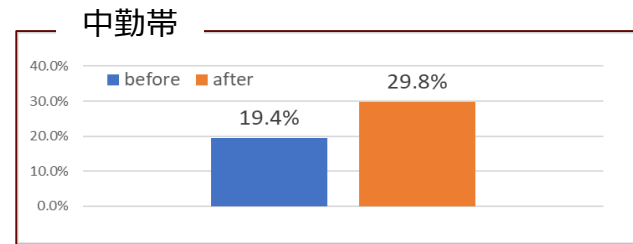
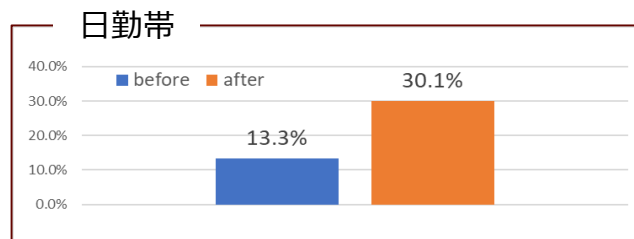
患者さんのその日の予定
や特記事項を確認できる

取り組み第1弾 A病棟での成果

■担当看護師による応答時間（秒）：

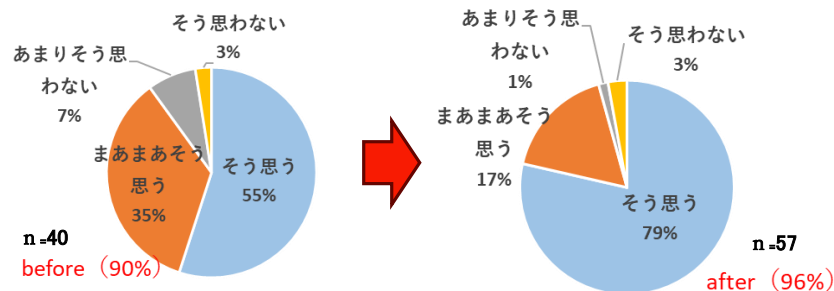


■担当看護師応答率： （スマートフォン対応）

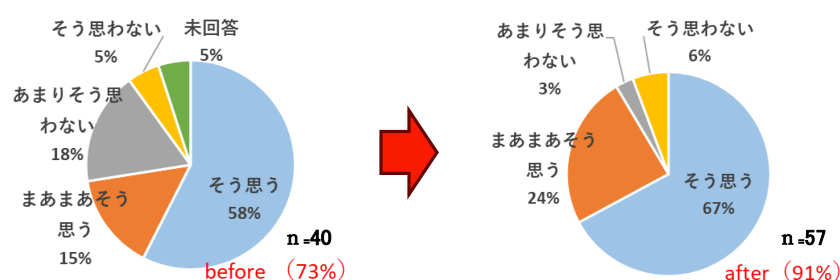


■患者アンケート：

ナースコールの対応が早いと感じましたか？



担当スタッフ（同スタッフ）が毎回対応しましたか？



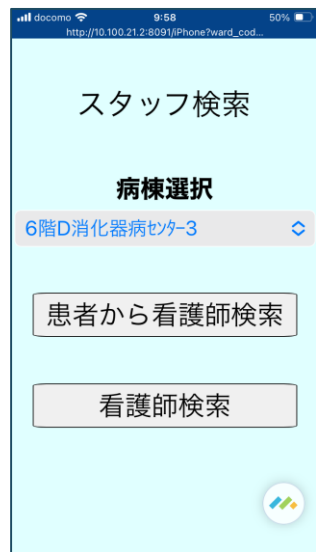
ナースコールシステムの深化を通して
患者さんと担当看護師が
つながった



③

【担当看護師検索と看護師氏名での内線通話】

- ・各看護師の受け持ち患者やその日の役割・予定などの確認が可能となった
- ・ログインしているとその看護師の名前から内線発信が可能となった



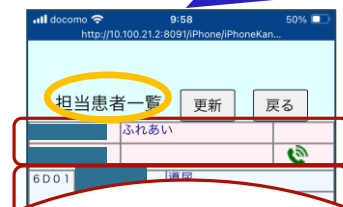
コールボタンから
内線発信が可能

看護師の研修や会議など
簡単な予定を確認できる



患者さんのその日の予
や特記事項を確認できる

「看護師選択」・「患者選択」にて
看護師や入院患者をタップすると
「担当患者一覧」の画面に遷移する



看護師
グループ

患者
グループ

機能を
多職種にも開放



取り組み第2弾 B病棟での成果

対象期間 before : 2025年5月12日～5月25日 14日間
after : 2025年6月3日～6月15日 14日間

担当看護師確認回数（ホワイトボード、クランク等への問い合わせ）

病棟のホワイトボードとクランク等のところに記録用紙を置き、
「担当看護師は誰か」を確認に行った回数を記録した

ホワイトボード前

6A病棟「受け持ち看護師情報共有刷新」実証実験ご協力のお願い
6A病棟ではベッドサイドやデジタルモニターに受け持ち看護師情報共有システムを導入しており、医師等が確認するための調査を行っています。
患者の担当看護師を確認したときは下記に「日」の字の1箇所書き添えてください。

実施期間： before : 2025年5月12日～5月25日 after : 2025年6月3日～6月15日

【After 調査】

	6月3日 火			6月4日 水			6月5日 木			6月6日 金			6月7日 土			6月8日 日			
	日勤	中勤	夜勤	日勤	中勤	夜勤	日勤	中勤	夜勤	日勤	中勤	夜勤	日勤	中勤	夜勤	日勤	中勤	夜勤	
医師	丁																		医師
リハビリ																			リハビリ
薬剤師																			薬剤師
MSW																			MSW
看護師	日																		看護師
その他																			その他

自分の職種のところを書いてください

	6月9日 火			6月10日 水			6月11日 木			6月12日 金			6月13日 土			6月14日 日			
	日勤	中勤	夜勤	日勤	中勤	夜勤	日勤	中勤	夜勤	日勤	中勤	夜勤	日勤	中勤	夜勤	日勤	中勤	夜勤	
医師																			医師
リハビリ																			リハビリ
薬剤師																			薬剤師
MSW																			MSW
看護師																			看護師
その他																			その他

《ホワイトボードによる 担当看護師確認数》

	before	after
医師	47	17
リハビリ	118	6
薬剤師	37	7
MSW	7	0
看護師	81	5
その他	8	1
計	295	36

《クランク等への問い合わせによる 担当看護師確認数》

	before	after
医師	9	3
リハビリ	1	0
薬剤師	1	0
MSW	9	7
看護師	21	2
その他	16	6
計	57	18

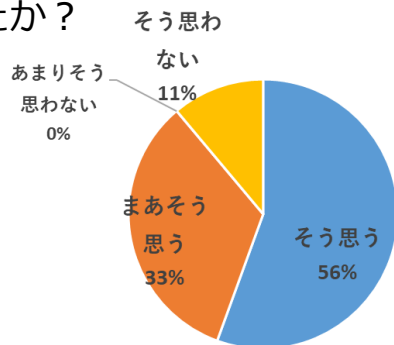
病棟にて確認する回数は 導入前295回から導入後36回に減少した。
時間換算では、病棟までの往復移動+担当探査時間を平均5分、スマートフォンでの移動無しの探査時間を1分と仮定
→ 1日92分程度、月43時間程度の短縮に相当

医師（消化器外科・消化器内科）へのアンケート結果

① 病棟に出向き担当看護師の確認を行う回数は減ったと感じましたか？

回答数 : 9

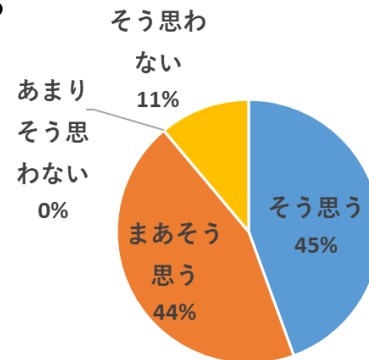
そう思う	5
まあそう思う	3
あまりそう思わない	0
そう思わない	1
計	9



② 内線電話で担当看護師の確認を行う回数は減ったと感じましたか？

回答数 : 9

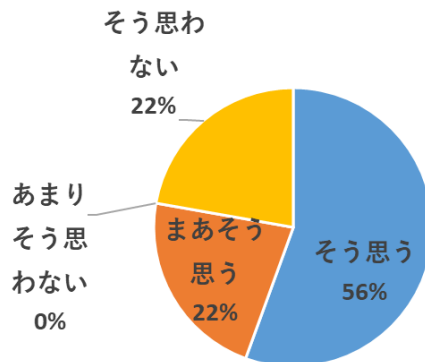
そう思う	4
まあそう思う	4
あまりそう思わない	0
そう思わない	1
計	9



③ 担当看護師に直接連絡する回数は増えたと感じましたか？

回答数 : 9

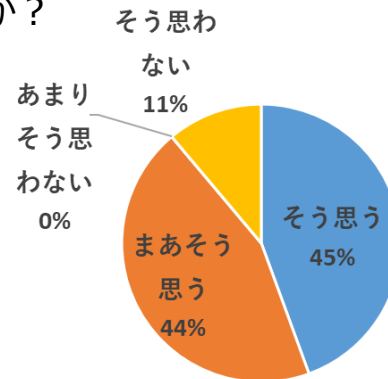
そう思う	5
まあそう思う	2
あまりそう思わない	0
そう思わない	2
計	9



④ ①～③のアンケートより業務生産性は上がると感じましたか？

回答数 : 9

そう思う	4
まあそう思う	4
あまりそう思わない	0
そう思わない	1
計	9



ナースコールシステムの深化を通して
看護師同士・
看護師と多職種が
つながった



メーカーが直接 現場の声を知見として活用

看護師紐づけ作業で重視する情報は多岐に及ぶ。
これらを画面上で確認しながら、紐づけ作業を実施したい。

【改善1】 患者、看護師紐づけ作業に必要な情報

- ・ 患者情報：検査治療予定、状態、プライマリナース…
- ・ 看護師情報：勤務形態、会議参加、研修参加…

→紐づけ作業画面で、情報登録・確認でき
担当看護師検索・患者検索画面からも確認できるよう改良した。

患者コメントが翌日リセットされてしまい毎日入力しなければならない。前日の受け持ち看護師も参考にしたい。

【改善2】 患者コメント自動継続機能を追加（削除しない限り継続表示）とした。

『前回情報取得』ボタンによるコピー機能を追加し、前回の部屋割りを参考に割り付け可能となった



コール、トイレ・浴室コールに加え、センサー呼出コールも「緊急呼び出し」として扱い、全台鳴動がよい。
担当看護師の優先呼び出しの対象は、一般呼出のみとしたい。

【改善3】 担当看護師優先呼び出しの対象となるナースコールの種別を見直した。

【呼出種別の絵文字】

緊急呼出：  801-3 佐々木次郎	トイレ浴室：  801-3 佐々木次郎
一般呼出：  801-3 佐々木次郎	センサ呼出：  801-3 佐々木次郎
脱落警報：  801-3 佐々木次郎	親機より：  親機1



日勤帯と夜勤帯の変わり目で行っている手動の切り替えが大変

【改善4】 勤務帯が変わるタイミングでの自動切り替え機能を導入した。



共創活動では意見交換を通して更に使いやすい機能に深化させてきた

ナースコールシステムの深化を通して
現場ニーズとメーカーの開発技術が
つながった



ナースコールメーカー（株）ケアコムとの共創活動 【第3弾】

取り組み第3弾： 全病棟展開

一般病棟（9病棟・412床）に展開

厚労省

「ICT機器を活用した勤務環境改善の先駆的
取り組みを行うモデル医療機関調査支援事業」

全部署に展開したい

目的

- ・受け持ち患者に向けた責任感・意識変容
- ・コミュニケーションの向上
- ・業務負担軽減 時間短縮

商用版リリース

第3弾 先発導入病棟（2026年1月）

「看護師長会DX推進グループ」
に所属する看護師長の4病棟

取り組み：第1弾・第2弾



取り組み：第3弾

前橋赤十字病
院-ケアコム
パートナー
ユーザー活動
第3弾開始

全病棟
への
水平展開

成果評価

→ 後発導入病棟（2026年2月～）

左記以外の5病棟

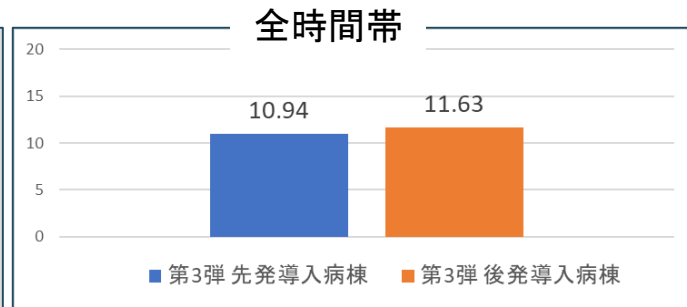
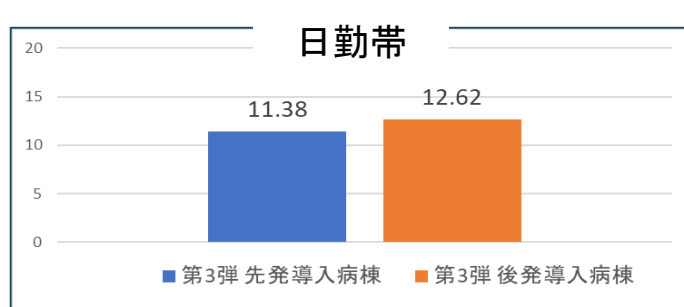
取り組み第3弾： 全病棟展開の結果

2026年2月～6月までの5ヶ月間の平均比較

(株)ケアコム提供データより

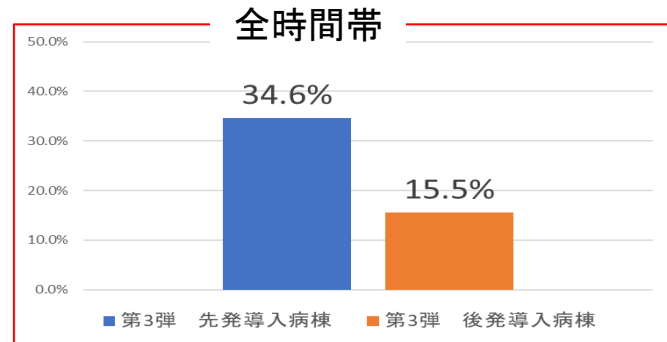
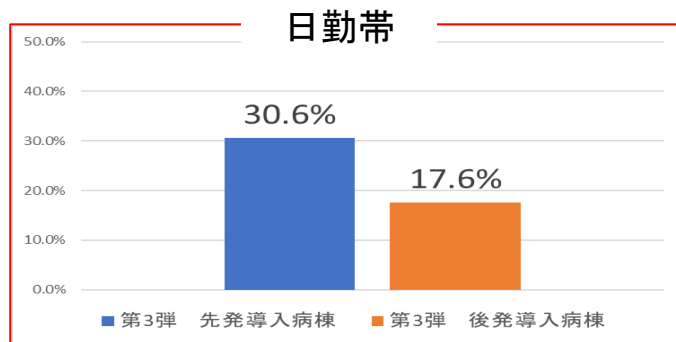
■担当看護師による応答時間（秒）：

12.1秒（日勤帯）



■担当看護師応答率（％）： （スマートフォン対応）

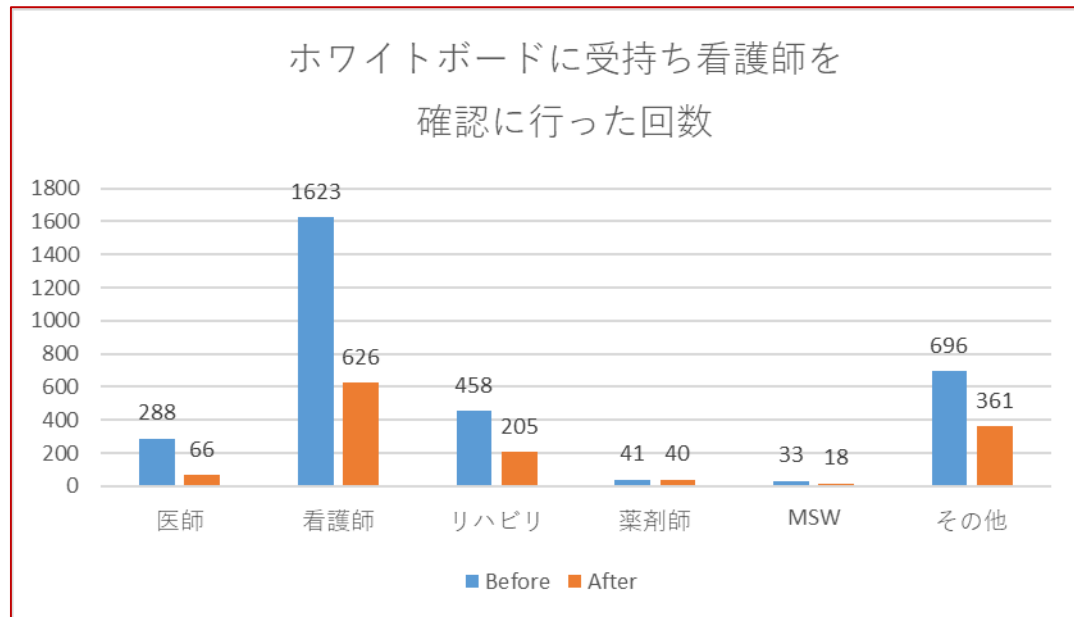
25.6%（日勤帯）



■担当看護師確認回数(ホワイトボードに確認に行った回数)

病棟のホワイトボードとクランク等のところに記録用紙を置き、
「担当看護師は誰か」を確認に行った回数を記録した

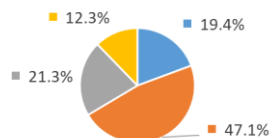
	Before	After	減少率
医師	288	66	77.1%
看護師	1623	626	61.4%
リハビリ	458	205	55.2%
薬剤師	41	40	2.4%
MSW	33	18	45.5%
その他	696	361	48.1%
合計	3139	1316	58.1%



■看護職員へのアンケート(結果)

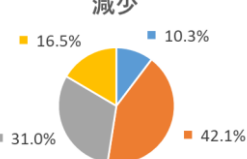
2026年5月11日～6月16日実施

割り付け作業の簡便化 n = 155



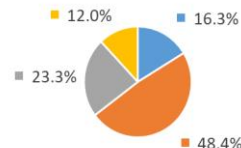
■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

担当患者以外からのナースコール 減少 n = 242



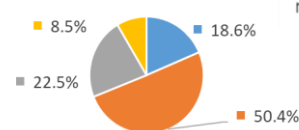
■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

患者予定が見れることで計画的な業務につながっている n = 258



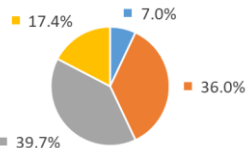
■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

スタッフの予定が見れることでチーム業務につながっている n = 258



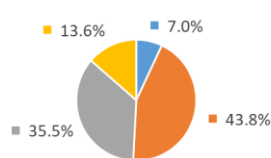
■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

業務中断の減少 n = 242



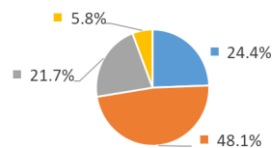
■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

担当患者の安心感の向上 n = 258



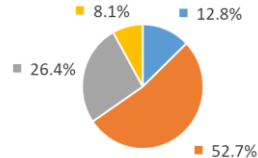
■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

スマホからの患者確認・スタッフ確認・電話発信は便利だと感じる n = 258



■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

業務生産性の向上 n = 258



■ そう思う ■ まあそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

【自由記載から見えてきた課題】 作業への慣れは経験を重ねることで習得できるが、活用促進・定着への強化介入が必要

■ログインを基盤として成り立つシステムのため、**ルールとしてログインを徹底**しないとシステムの運用に影響する

■使用方法について**院内周知**が十分にできていない → 他職種にシステム利用をもっと願う声あり

■機能別でナースコール対応してきた**部署の意識変容や運用変更**が間に合っていない → 担当看護師優先呼出の意義理解促進

■各部署の**体制構築のための伴走体制**が十分にできていない → 各部署と「業務改善過程」を共有し支援する必要あり



第1弾・第2弾での導入した病棟（A・B病棟）への意見聴取



看護師・係長・師長等10名 → 結論:「なくなると困る優先呼出システム」

「担当割付は、もうホワイトボードの作業には戻れない」

→ **本システムは両病棟では高いレベルで定着している**

■定着に成功した要因として聞かれた声

① 現場リーダーの推進力

- ・師長、係長、主任の目標設定
- ・推進者を任命



現場全体で活用を促進

他病棟に先駆けて行う責任感とやりがいもあった

③ルール(ログイン運用)の徹底

- ・声掛け、待受画面に貼付
- ・実施の見える化
- ・病棟の目標に設定



ログイン率向上＝定着の前提

②現場への伴走(支援)体制

- ・病院にとっての位置づけ(価値共創活動)
- ・看護部、情報システム課
- ・業者(ナースコールメーカー)



現場の声を聞いて支援・改善に活用

④システム利用目的の共有

- ・担当看護師としての看護のあり方
- ・患者サービス向上
- ・情報共有
- ・業務効率化
- ・業務負担軽減

等の目的を共有

⑤継続利用

導入直後は抵抗感あり



約1か月で便利さを実感



■導入効果として聞かれた声

① 看護の質向上

【看護師にとってのメリット】

- ・受け持ち患者を意識している
- ・担当としての自覚をして行動している
- ・コミュニケーション機会が増加して
受け持ち患者理解につながっている
- ・患者の状態変化に早く気付ける
- ・どんなことでコールしたか、
鳴ったときにわかるようになった
- ・コールの前におこうと考えることがある
- ・継続的なアセスメントができると思う

【患者にとってメリット】

- ・担当看護師が対応する安心感
- ・説明の重複は減少
- ・看護師間の伝達ミスが減少
- ・わかっている看護師による迅速な対応

② 看護提供体制への意識向上

- ・ペアで看護をしているという意識が向上した
- ・受け持ち患者について情報共有が促進された

・一方で、担当患者への意識が強まり、
担当外患者への反応低下には気をつけている

③ 業務効率化・情報共有

【患者一看護師紐づけ作業(担当割当)について】

- ・転記は不要 ・修正が容易
- ・勤務変更に対応 ・履歴確認ができる

【スタッフ検索について】

- ・病棟にいらなくても担当者をすぐ確認できる
- ・他職種連携につながる機能
- ・ペーパーレス化

・一方で、通信機能の動きが重く反応が遅いことがある



【システム面】

- ・動作の重さ

【運用面】

- ・担当割作成者の精神的負担
- ・コメント入力負担
→クランクに依頼するなど
- ・コール集中

【多職種スタッフへの展開】

医師その他、多職種への活用拡大

今後の課題

ナースコールシステムの深化を通して
看護部として目指す姿へと
つながった



今後の課題： 更に「つながる」ためのアプローチ

1. moconaviアプリへのログインログアウト100%運動

目的： システムの基盤を整える

実施内容： スマートフォン待ち受け画面にはりつけ

朝礼での声かけとその場でログイン実施、退勤時のログアウト確認

2. 担当看護師優先呼出の意義を伝える活動

目的： 担当看護師が受け持ち患者の看護に責任を持って向かいやりがいを実感する

実施内容： スタッフ向けメッセージの発信（ポスター掲示）

担当看護師が応答することの意味

患者の安心感・信頼関係の構築

先取り看護の実践・継続看護の実践・・・



3. 多職種の活用推進活動

目的： 看護師以外にもシステムの価値を広げ価値を高める

実施内容： 多職種にシステムを再周知する

各会議での伝達 + 個別に診療科部長・課長等に説明に出向いて説明



看護部・情報システム課・看護師長会DX推進グループが各部署の推進活動に伴走し、部署毎の疑問や課題解決の支援する

おわりに



今回、ナースコールシステムの機能拡張に取り組み、患者と担当看護師とのつながりを強化し、看護の質向上に一定の成果を得ることができた。
その結果、本取り組みは全病棟へと展開された。

本システムは、患者と担当看護師をつなぐだけでなく、看護師同士や看護師と多職種をつなぐコミュニケーション基盤としても機能している。

院内他職種からの理解と協力に加え、株式会社ケアコム担当者様から専門的な助言や技術的支援をいただけたことが大きな成果につながった要因である。
日頃から看護現場の声を届け、共に改善を進められる関係づくりの重要性を実感した。

今後も慣習を当たり前とせず、未来志向で挑戦を続け、より良い看護の実現につなげていきたい。



ご清聴ありがとうございました

